

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 月1/火1/金1	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	中国語 I /(Chinese I)		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) 月1:E10/火1: Lc・d / 金1:T六	科目分類 外国語科目(中国語)		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:楊 曉安 / Eメールアドレス:xiaoran@nagasaki-u.ac.jp /研究室:共同教育棟3階 /オフィスアワー:月・火・金の5校時			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。 授業方法: 1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。 授業到達目標: 1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 概要:この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。 第1回 第1課 発音1 子音(1)唇音・舌尖音 / 四声 / 単母音 / 特殊母音 er / アル化 / 簡単な挨拶(1) 第2回 第2課 発音2 子音(2)舌根音・舌面音 / 複合母音(1) / 軽声 / 簡単な挨拶(2) 第3回 第3課 発音3 子音(3)捲舌音・舌歯音 / 複合母音(2) / 三声の変調 / 一・不の変調 / 簡単な挨拶(3) 第4回 発音のまとめ 小テスト 第5回 第4課『こんにちは』 文法:姓の呼び方 / 人称代名詞 / 中国人の姓名 第6回 第5課『あなたは先生ですか』 文法:判断文の肯定・否定・疑問 / 指示代名詞 第7回 第6課『中国語は難しいですか』 文法:形容詞述語文 / 「呢」 / 時の表現 第8回 第7課『あなたの友だちは来ますか』 文法:動詞述語文 / 語気助詞「了」① / 場所代名詞 第9回 第4課から第7課までのまとめ 小テスト 第10回 第8課『書棚には何がありますか』 文法:「在」と「有」 / 「是～的」 / 常用量詞 第11回 第9課『自動車の運転ができますか』 文法:「会・能・可以」 / 語気助詞「了」② / 「就」 / 疑問代詞 第12回 第10課『どこに行ったのですか』 文法:時態助詞「了」と語気助詞「了」 / 「一点儿」と「有点儿」 第13回 第11課『もうすぐ雨が降ってきます』 文法:存現文 / 「跟」 / 「快要」 第14回 第8課から第11課までのまとめ 小テスト 第15回 試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキスト:黒坂満輝・村上公一・楊曉安『コミュニケーション中国語I』(同学社) 辞書:上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
成績評価の方法・基準等	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			